

第7 回定期大会開催!

8月4日、茨木市クリエイトにおいて 第7回定期大会を開催し、昨一年間の闘いの総括と向こう一年間の闘う運動方針を決定しました。

大会は、北村組合員を議長に選出し議事が進められました。

松本分会長から「安倍政権の暴走を許さず、あらゆる戦争政策に反対しJR総連の仲間と連帯し闘う」「地本改憲阻止プロジェクト広島平和研修に参加し、平和をつくるために、何かをする人にならなければいけないことを学んだ」「仕業の要員削減、仕業検査の外注化反対に取り組む」「仕業検査の外注化は、偽装請負の疑いがある」「会社のボーナスカット攻撃に対して中労委、本人訴訟、BC共同訴訟を闘っていく」「たしろかおる参議院議員は、国会で奮闘されている。来年7月に向け支援し連帯し闘っていく」等の挨拶を受けました。

来賓挨拶は、東海労本部の柳楽執行委員、本部車両技術分科会の布施副会長、地本の三田執行委員、各分会を代表して大阪第二運輸所分会の今田分会長からいただきました。その他にも多くの地本役員と他分会からの来賓参加とメッセージがあり激励を受けました。



質疑応答では、仕業の検査体制の見直し・外注化は問題。偽装請負の問題を追及していきたい。委託の問題は明確化すべきだ。出向先の労働条件が悪い。今後も本人訴訟を闘う。職場で仲間と助け合い闘う。等の意見に対し、偽装請負の問題点を吸い上げ闘っていく。出向先の問題点はCMCとの団交実現の教訓を活かして取り組む。裁判と職場闘争をしっかりと取り組むことを確認しました。

最後に松本分会長の団結ガンバローで締めて、大会は成功裡に終了しました。